

じょう ほう

情報モラル を学ぼう



安全ウサギ

小学校編—第3版—

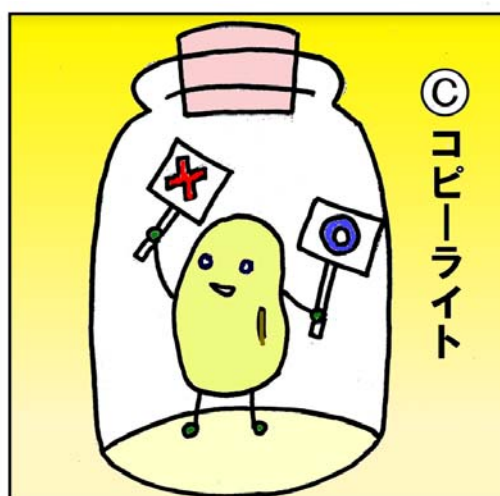
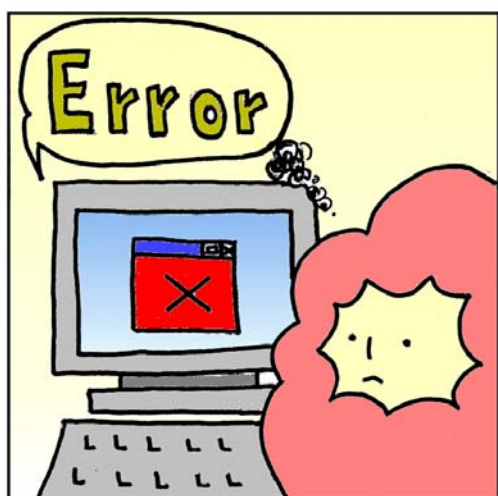


岩手県立総合教育センター

学校名	学校	氏名	
	年 組 番		

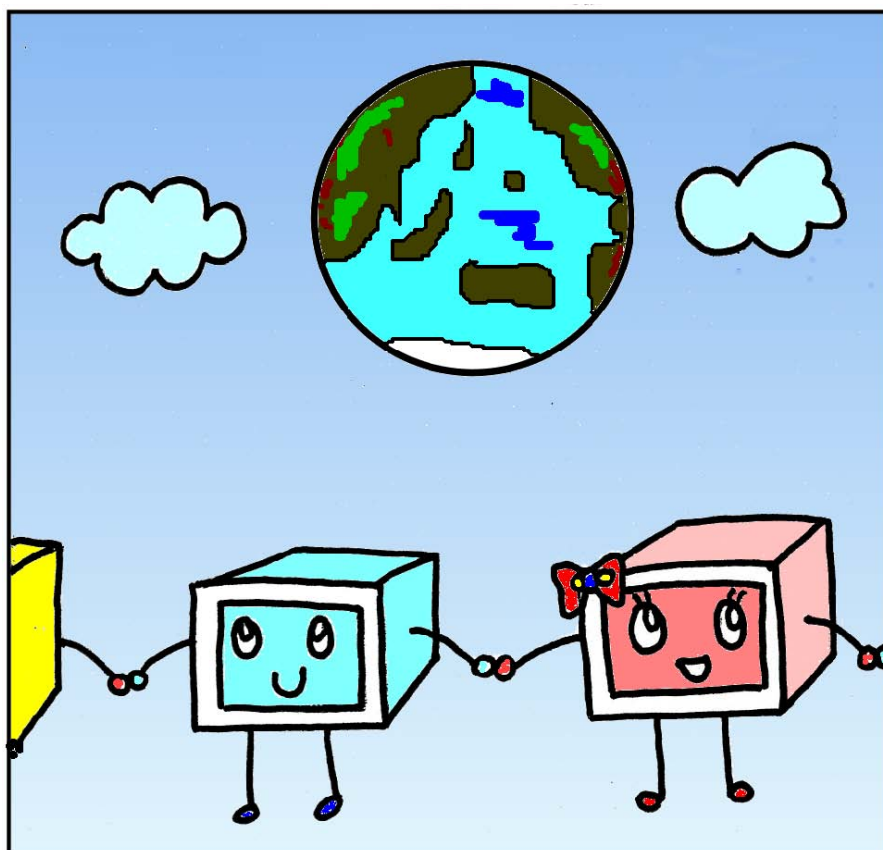
もくじ

はじめに	1
1 コンピュータを使ってみよう	2
2 コンピュータを使うときのルールとマナー	4
3 インターネットはとても便利。 でも気をつけて使おうね	6
4 著作権 <small>ちよさくけん</small> って、なに？	8
5 その情報 <small>じょうほう</small> を知らせてもいいのかな？	10
6 掲示板 <small>けいじばん</small> やチャットでコミュニケーションしよう	12
7 掲示板 <small>けいじばん</small> やチャットでのトラブル	16
8 電子 <small>でんし</small> メールを使ってみよう	18



はじめに

みなさんの目の前にあるコンピュータは、世界中のコンピュータとつながっています。みなさんがコンピュータを快適に使うために「守ってほしい」こと、「気をつけてほしい」ことをこれから勉強していきましょう。



【このテキストの利用上の注意点】

- ・このテキストは、小学生（4～6学年）への指導を対象として構成されています。
- ・このテキストの内容についての問い合わせは、岩手県立総合教育センター情報教育担当までお願いします。
問い合わせ先 電話：0198-27-2254（直通） 電子メール：joho-r@center.iwate-ed.jp
- ・このテキスト内で用いられている漢字は、小学校6年生までに学習するものに合わせています。
- ・このテキスト内のイラストは、岩手県立花巻南高等学校の生徒さんの作品です。

【参考文献】

「小・中学校における情報モラルの指導の在り方に関する研究」（2004） 岩手県立総合教育センター

コンピュータを使ってみよう

—きまりを守って、コンピュータをかしこく使おう—

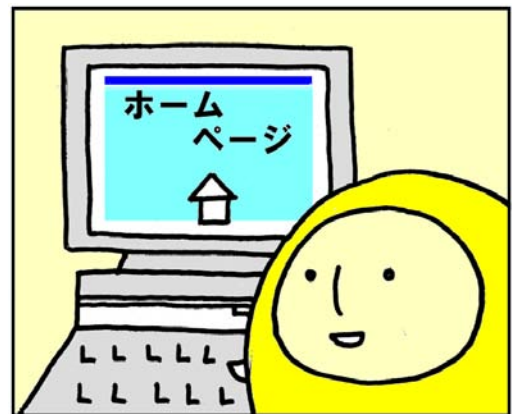
1 コンピュータをかしこく使おう

コンピュータを使うといろいろなことが簡単にできます。絵を描いたり、写真を加工したり、加工した写真やイラストを入れた文書を作成することができます。ビデオを編集したり、音楽を作成したりすることもできます。

インターネットに接続すれば、学習したことや興味のあることをホームページから調べたり、遠く離れた人とメールをやり取りしたり、家にいながら買い物やチケットの予約をすることもできます。

これから皆さんは、このように便利なコンピュータを学習や生活に上手に利用できるようになることが必要です。

しかし、残念ながら、便利さのせいでコンピュータを利用した犯罪や事件も多くなっています。犯罪や事件に巻き込まれないためにも、コンピュータを利用するときの注意点（これを「情報モラル」といいます）をしっかりと学習して、気をつけながらコンピュータを利用して行きましょう。



(1) きまりを守ってコンピュータを使おう

学校には、コンピュータ室や図書室などにたくさんのコンピュータがおかれています。このコンピュータは、みなさんの学習を手助けしたり、みなさんがコンピュータを上手に使えるようになるために学校が用意しているものです。

学校のコンピュータは、みんなで使うものですので、きまりを守って大切に使いましょう。「利用のきまり」には、つぎのようなものがあります。

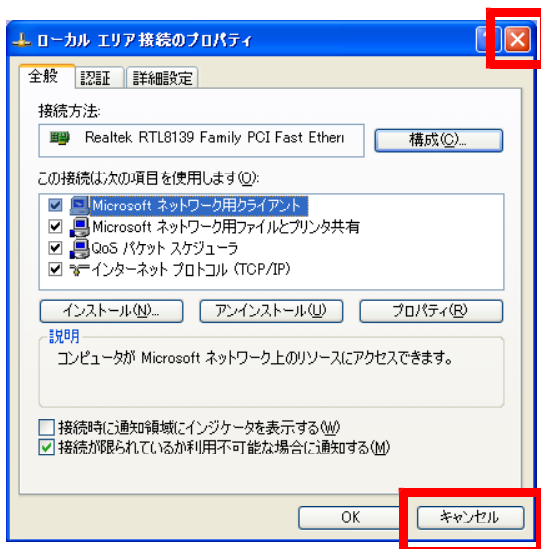
- コンピュータ室には、必要ないものはもっていかない。
- パソコンにさわるときは、手をきれいに洗って、ハンカチでふいておく。
- 使い方のきまりを守って楽しく使う。使い方が分からないときは、先生に聞く。
- 机に消しゴムのかすをちらかさないように気をつける。
- 自分で作ったデータは、先生の指示にしたがって決められた場所に保存する。遊びで作ったお絵かきのデータなどをかってに保存しない。

- パソコンの画面やアイコンなどを勝手に変えたり、人の作品を消したりしない。
- パソコンのデータを勝手にコピーしたり、ソフトを勝手に入れたりしない。
- 使っているときに、故障や問題がおきたときは、すぐに電源を切ったりせず先生に知らせる。

学校のコンピュータは、みんなで学習に利用するためのものです。自分勝手に設定を変更したり、乱暴にあつかってこわしたり、よごしたりしてはいけません。つぎに使う人の気持ちになって大切に使いましょう。

(2) 「プロパティ」、「オプション」は変更しない

コンピュータの操作をしていると、「〇〇のプロパティ」や「〇〇オプション」などの画面が表示されることがあります。これは、専門の知識を持った人が、コンピュータをみなさんが使いやすいように設定するための画面です。



プロパティの画面の例

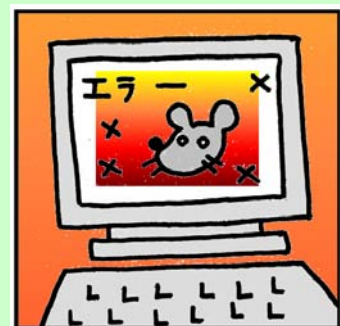
このような画面で、設定を変更すると、インターネットに接続できなくなったり、印刷ができなくなったりすることがあります。ひどいときには、コンピュータがまったく動かなくなることもあります。

ですから、自分勝手に設定を変更しては絶対にいけません。まちがって変更してしまったときは、すぐに先生や家の人に話してください。

もし、このような画面が表示されてしまったら、 や ボタンをクリックして、画面を閉じましょう。

学校のコンピュータ室では、いつ、だれが利用していたか、どのような操作をしたかを記録することができるしくみや、設定を変更しても、もとに戻すことができるしくみを取り入れているところもあります。

正しい利用のしかたをしていれば、安心してコンピュータを活用することができます。



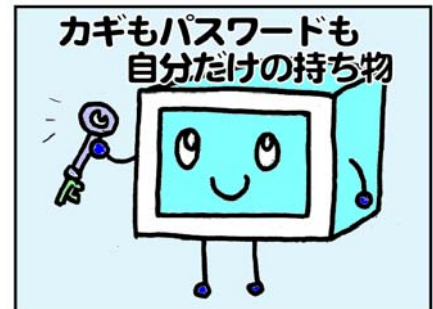
コンピュータを使うときのルールとマナー

—コンピュータをつかうときに気をつけること—

1 パスワードは秘密の合いことば

コンピュータの電源を入れると、画面に「ログイン」(または「ログオン」)のウィンドウが表示されます。ログインとは、「だれがこのコンピュータを使うのか」ということをコンピュータに伝えることです。アラビアンナイトの「ひらけゴマ!!」というじゅもんに、にっていますね。ログインは、あらかじめ使うことがゆるされている人につけられた名前「ユーザ名」と、その人しか知らないひみつの合いことば「パスワード」を入力します。

コンピュータには、大切なプログラムや情報がたくさん入っています。勝手に使われていたり、大切な情報がなくなったりしてはこまります。そのため、「ユーザ名」や「パスワード」は、他の人に知られないように秘密にしっかりと管理しなければなりません。



みんなで守ろう、気をつけよう!!

- ①「ユーザ名」や「パスワード」を他の人には絶対に教えない。
- ②「ユーザ名」や「パスワード」を書いたメモなどを人が見えるところにおかない。
- ③他の人の「ユーザ名」や「パスワード」を知ってしまったら、先生に知らせる。

2 人のものを勝手に見ない、使わない

学校のコンピュータはみんなで使いますから、自分以外の人々が作った作品が保管されていることがあります。これを勝手に見たり、勝手にコピーして使ったりしてはいけません。

自分が書いた手紙が他の人に勝手に見られたり、丸写しされたり、いたずら書きをされたらどんな気持ちになりますか。とても嫌な気持ち、悲しい気持ちになりますね。

コンピュータを使えば、何日もかかって苦勞くろうして作った資料しりょうや作品でも、コピーや加工かこう さくじょ、削除かんたんが簡単にできてしまいます。

また、相手の顔が見えないために、いけないことだという気持ちがうすくなってしまいます。

皆さんは、作った人の気持ちになって、他の人の作品を勝手に、見たり使ったりしないようにしましょう。



大切な資料しりょうや作品さくひんは、フロッピーディスクなどに別に保管ほかんして大切にしまっておきましょう。



3 コンピュータの動きがおかしいと思ったら

コンピュータの設定せっていを変更へんこうしたり、まちがった使い方をしたりしていると、画面の表示がめんがおかしくなったり、動作どうさが遅くなったりすることがあります。そのまま使い続けていると、電源でんげんが入らなくなったり、エラーになって使えなくなったりしてしまいます。

エラーメッセージが表示されたときや、「動きがおかしいな」と思ったときは、すぐに、つぎのようなことを確認して先生や家の人に相談そうだんしましょう。はやく見つけることで、故障こしょうをふせぐことができます。



- ①どのように動きがおかしいのか、どんなエラーメッセージか
- 砂時計すなどけいのアイコンがでて操作そうさができません
 - 「印刷いんさつに失敗しっぱいしました」のメッセージがでました など
- ②いつから、どのような操作そうさをしていたときにおかしくなったか
- 例) きのうから、印刷いんさつのボタンをクリックしても「プリンタが見つかりません」とメッセージが表示されて印刷いんさつできませんでした。

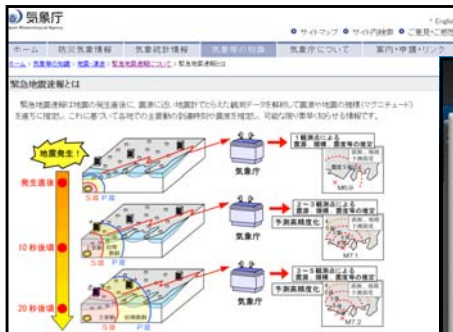
インターネットはとても便利。でも気をつけて使おうね

インターネットはとても便利。でも気をつけて使おうね。

インターネットの利用上の注意

1 インターネットは情報の宝庫

インターネットは、世界中のコンピュータとつながっています。インターネットを使うといろいろな情報を世界中から集めることができます。



気象庁



NASA (アメリカ) Kids' CLUB



岩手県

しかし、インターネットの世界には、様々な意見や好みを持つ人が作るホームページがあり、その中にはみなさんにとって有害な情報をのせるホームページもたくさんあります。

- ・ウソの情報を流す
- ・気持ち悪くなるような情報を流す
- ・法律に違反している情報を流す
- ・大人のお金もうけのためのページ
- ・エッチなページ
- ・コンピュータにいたずらをする

別に見るつもりはなくても、検索した結果をみているうちに偶然このようなページが表示されることもあるので、注意が必要です。

また、ホームページの中には古い内容がそのままのっていたり、まちがいに気づかずにのせてしまったりしているものもあります。ひとつのページの内容をそのまま信用せずに、ほかのホームページと比べてみたり、本で調べたりして正しい情報かどうかを確かめるようにしましょう。

2 こんなが画面がでてきたら、どうする!?

インターネットで検索しているうちに、突然、有害なホームページが現れることがあります。このようなときには、どうすればいいのでしょうか。



(1) 子どもが見てはいけないページ

大人向けのページには、「18歳未満は入ってはいけない」「成人向け」「アダルト」と書かれているものがあります。年齢を確認するボタンがあるものもありますが、これらをクリックすると、使っているコンピュータの情報が相手に送られたり、利用料金を請求する画面が表示されたりすることがあります。

大人向けのページが表示されたら、ブラウザの「戻る」ボタンをクリックして画面とは無関係なページまで戻ってください。どうしても戻ることができないときは、「閉じる」ボタンを押して、もう一度最初からやり直します。

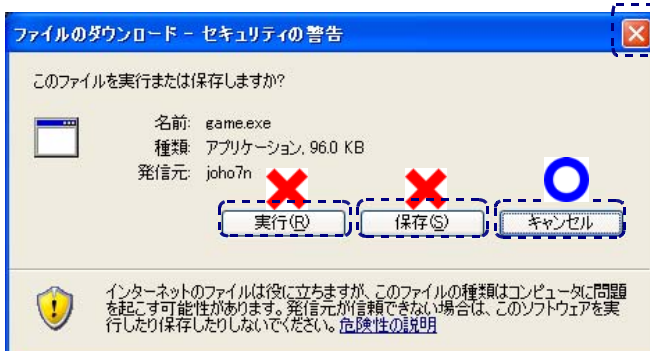


(2) 掲示板などのリンク

インターネットを検索していると、いろいろな人が利用する掲示板の書き込みの画面が表示されることがあります。この中のリンクをクリックすると、子どもがみてはいけないページが表示されることがあります。このようなときも、すぐにブラウザの「戻る」ボタンか「閉じる」ボタンを押します。

(3) ファイルのダウンロード (プログラムのインストール)

突然、「ファイルのダウンロード」「プログラムのインストール」と書かれている小さな画面が表示されたら、「実行」や「はい」などのボタンを押さずに、先生やおうちの人に相談しましょう。まわりに大人がいないときは、「キャンセル」や「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。



「へんな画面が表示された」、「操作ができなくなりました」など「おかしいな」「よくわからないな」と思ったときは、すぐに先生やおうちの人に相談しましょう。

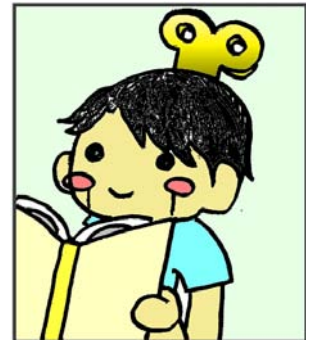
ちよさくけん 著作権って、なに？

けんり
一作った人の権利をまもろうー

調べ学習で調べたことをまとめたり、学級新聞を作成したりするとき、インターネットのホームページや電子メールを使ってたくさんの情報を集めたり、コンピュータを使ってイラストや写真を入れた文書を作成したりすることができます。

コンピュータやインターネットを利用すると、データをコピーして加工することが簡単にできますし、電子メールやホームページを利用して情報を発信することも簡単にできるようになります。

しかし、簡単にできるようになったからこそ、私たちが気をつけなければならないことがいくつかあります。そのひとつが「著作権をまもること」です。



1 ちよさくけん 著作権について

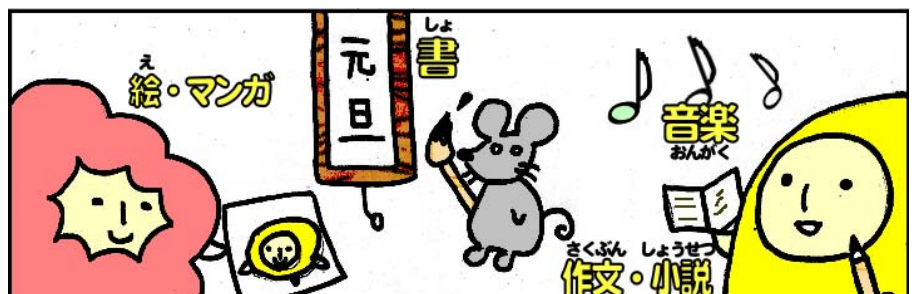
もしも、となりの学級の友達が、あなたが書いた作文を丸写しして先生に出したなら、あなたはどう思いますか？ 下のわくの中に書いて下さい。

(1) ちよさくけん 著作権とは

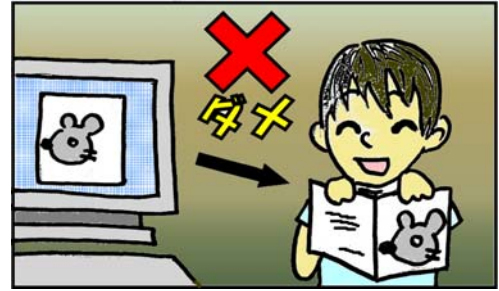
私たちが、絵や習字、作文、音楽などの作品を作ると、著作権という権利を持つことになります。

著作権とは、他人が自分の作品を使おうとするときに、利用を認めたり、禁止したりできる権利で、人まねでない作品なら小学生の作品にも著作権があります。

この権利は、法律で守られている権利です。人の作品やホームページの写真・キャラクタを勝手に



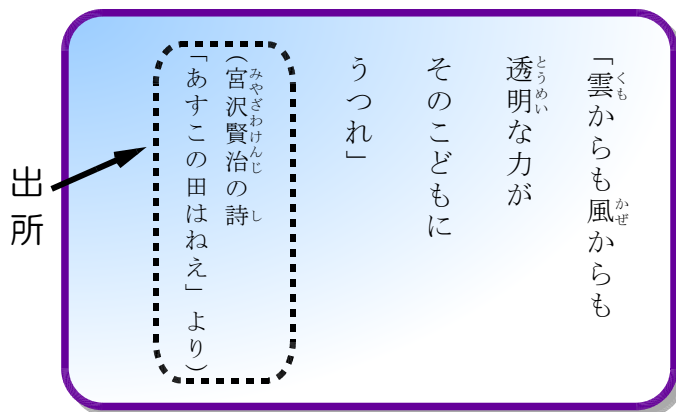
コピーしてくれたり、利用してはいけません。
ただし、授業での利用や、個人的な利用については、つぎのように特別に認められます。



(2) 授業のための利用

授業で必要な資料については、いちいち断らなくても必要な分だけコピーしてもよいことになっています。勉強のためならよいということですね。

しかし、どこからコピーした資料なのか必ず書いておきましょう。自分で書き写すときも同じです。これを「出所の明示」といいます。例えば、文にはかぎかっこを付け、最後に下のように書きます。



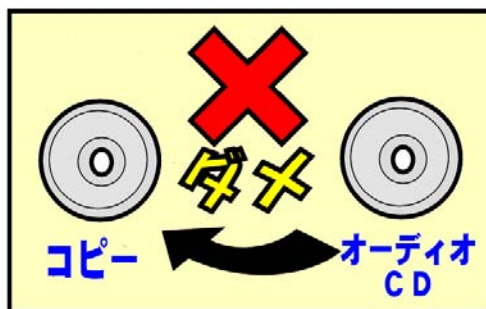
著作権は作者の死後50年間保護されます。

宮沢賢治(1933年9月21日没)の作品の著作権の保護期間は終わっています。

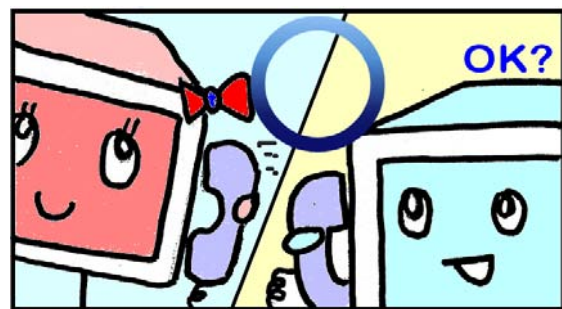
(3) 個人的な利用

自分自身や家族などが利用するために本をコピーしたり、音楽を録音することは認められています。

しかし、コピーしたディスクなどをたくさんの人に貸したり、売ったりすると著作権法という法律に違反することになります。また、コピーできないようになっているものを正しくないやり方でコピーすることもいけません。



パソコンを使えばかんたんね・・・



自分や家族が利用することは自由です。

授業以外で、発表などに利用したいときは、許可を得てから利用します。利用のかたちによっては、使用料を支払う場合もあります。

許可を受けずにくんだり、売ったりしてはいけません。また、不正な方法でコピーすることもいけません。

その情報^{じょうほう}を知らせてもいいのかな？

その情報^{じょうほう}を知らせてもいいのかな？

—大切な情報^{じょうほう}を守ること、発信する情報^{じょうほう}に責任を持つこと—

いっしょうけんめいに調べて、くろうして作った作品^{さくひん}は、友だちやたくさんの方^{りょう}に見てもらいたいものですね。コンピュータやインターネットを利用することで、きれいに印刷^{いんさつ}して友だちにくばったり、遠くにいる人^{でんし}に電子メールで送ったり、ホームページをつかって公開したりすることが簡単にできるようになりました。

このように、だれでもが簡単に情報^{じょうほう}を発信^{はっしん}できるようになりましたが、逆に思わぬ事件^{じけん}や問題が発生することもあります。コンピュータを使って情報^{じょうほう}を発信^{はっしん}したり公開したりするときには注意が必要です。

1 個人情報^{こじんじょうほう}について

問題 次のような内容を、太郎君はホームページで公開しました。

このあとどのようなことが起こると思いますか。右のわくの中に書いてください。



住所、氏名、生年月日、電話番号、顔写真などを個人情報^{こじんじょうほう}といいます。この情報^{じょうほう}が、本人の知らないところで利用されていたり、それがもとでトラブルにまきこまれたりすることがあります。

このような個人^{こじん}が特定^{とくてい}できてしまう情報^{じょうほう}をホームページや掲示板^{けいじばん}で公開してはいけません。また、インターネットのアンケートなどに簡単に個人情報^{こじんじょうほう}を入力することもいけません。

連絡先^{れんらくさき}などを電子メール^{でんし}で伝える必要があるときは、まず、先生や家の人に相談^{そうだん}し、伝えても良いかどうか、必ず確認^{かくにん}してもらいましょう。

2 正しい情報を発信しよう

問題 次のような内容のホームページを公開しました。問題はありませんか。おかしいと思う所に×印を書き入れてみましょう。

また、このようなホームページを公開したことによって、どんなことがおこるとおもいますか。下のわくの中に書いてください。



情報を発信するときには、まちがいや人をだますようなウソの情報を発信してはいけません。ホームページや掲示板に書き込まれた情報や、送信した電子メールの情報は、すぐに全世界に公開されたり、相手に送信されてしまい、取り消すことはできません。

あとから訂正をしたりあやまったりしても、その前に情報を信じてしまった人に損をさせたり、迷惑をかけたりしてしまったときは、小学生であってもその責任をとらなければならないのです。

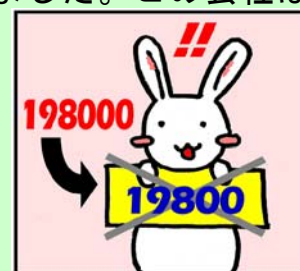
情報を発信するときには、ウソやまちがいがなにかをしっかりと確認して、内容に責任を持って発信しましょう。

エッ!! 新製品のパソコンが「19800円」!?

通信販売のホームページで、新製品のパソコン価格「198,000円」を、まちがって「19,800円」と、ひとけた少なく登録してしまったという事件がおきました。

この情報は、価格を比較するホームページや掲示板などに書き込まれ、あっという間に広まり、たくさんの注文がきてしまいました。この会社は、まちがいに気がつき訂正しましたが、そのときすでにたくさんの人から注文が来ていました。

結局、この会社は「19,800円」で販売することになり大きな損をしてしまいました。



けいじばん 掲示板やチャットでコミュニケーションしよう。

けいじばん
ー掲示板やチャットで気をつけることー

1 けいじばん 掲示板やチャットでたくさんの人とコミュニケーション

けいじばん
掲示板は、インターネットの掲示板のページに意見や情報を書き込んで、多くの人に見てもらい、それについての意見や情報を交換することができるしくみです。自分の意見を広く世界に発信したり、家にいながら遠くの人やたくさんひととコミュニケーションしたりすることができます。

チャットは「Chat=おしゃべりする」という意味で、掲示板よりも短いことばで会話するようにインターネット上でコミュニケーションするしくみです。

けいじばん
【掲示板の例】

◆みんなの掲示板

◆氏名:

◆メールアドレス:

◆メッセージ:

書き込み

●ID: 61 冷麺大好きさん【2006/11/17 14:22:14】
僕は冷麺が好きです。皆さん「もりしげ」さんの冷麺

●ID: 60 よしおさん【2006/11/16 17:58:30】
たけしさん、さっそくの書き込みありがとう！やぶや
るので、盛岡市内のわんこそばの店を知りませんか。

●ID: 59 たけしさん【2006/11/16 17:56:29】
はじめまして。僕は、岩手の名物はわんこそばだと思います。花巻のやぶやが有名です。こは、向
沢賢治もよく食べにきていた、そばさんです。

●ID: 58 よしおさん【2006/11/16 17:53:51】
こんにちは。僕は、小学5年生です。岩手の名物について調べています。皆さんの情

■みんなのチャット【カテゴリ: 学校】

たけし 僕の学校にもウサギがいます。 発言/メッセージ更新 退室

たけし > こんにちは(2006/11/20 13:18:07)

MASTER > たけしさんが入室されました (2006/11/20 13:17:54)

ようこ > これからも、ウサギの様子を教えてくださいな。(2006/11/01 14:47:49)

かおりん > どれもとってもかわいいです。黒いウサギは大きくてえさをたくさん食べるんですよ。(2006/11/01 14:46:52)

かおりん > 黒いウサギと白いウサギが2羽います。(2006/11/01 14:46:18)

ようこ > かおりんさんの学校のウサギは、どんなうさぎですか。(2006/11/01 14:45:25)

ようこ > わたしの学校のウサギは、白いウサギで、ユキちゃんといいます。(2006/11/01 14:45:07)

かおりん > こんにちは。わたしの学校でもウサギを飼っています。当番で世話をします。(2006/11/01 14:44:07)

MASTER > かおりんさんが入室されました (2006/11/01 14:43:18)

ようこ > はじめまして。ようこです。わたしの学校にはウサギがいます。とてもかわいいです。(2006/11/01 14:42:08)

MASTER > ようこさんが入室されました (2006/11/01 14:41:42)

master > Hello!! Chat!!(++++)

【チャットの例】

掲示板やチャットでは、本名ではなくハンドルネームというニックネームで書き込むのが一般的です。

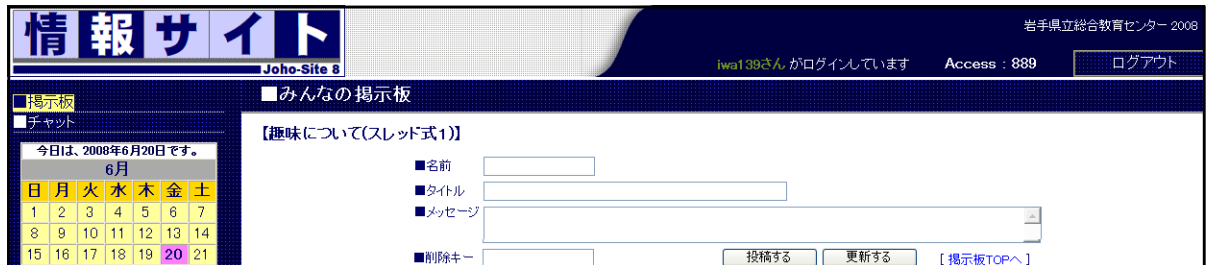
けいじばん ○掲示板とチャットの特徴

- けいじばん
掲示板・・・ 時間にしばられずにあとから読むことができる。
画像などのデータを共有したり、リンクを書き込むことができる。
- チャット・・・ 同じ時間に短い文章で会話するように交流する。
すぐに返事を返すため、深く考えずに簡単に書いてしまう。

けいじばん
掲示板やチャットは、とても便利で楽しいものですが、相手が見えないために
いろいろなトラブルになることがあるので気をつける必要があります。

○ 「情報サイト」の掲示板を体験してみよう。

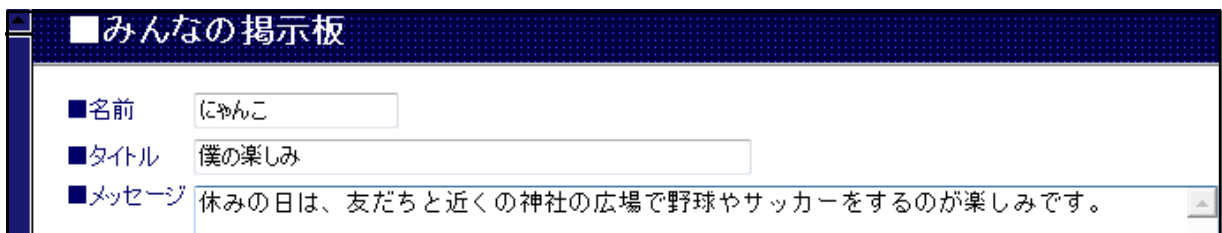
「情報サイト」の掲示板を使って実際に書き込みをしてみましょう。
先生の指示にしたがって操作します。「情報サイト」にログインして、掲示板を表示します。



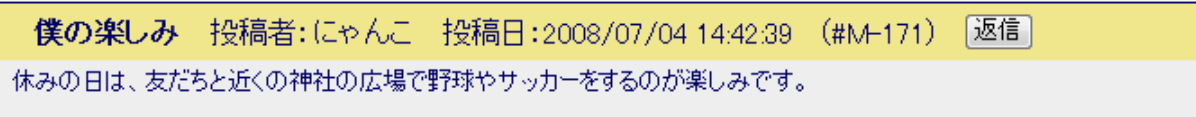
先生の指示にしたがって、

- ① 「氏名」にハンドルネーム（ニックネーム）を入力します。
- ② これから書き込むメッセージの内容にそった「タイトル」を入力します。
- ③ 「メッセージ」の欄に、テーマにあわせた内容で書き込みをします。

見る人の気持ちになって、わかりやすくていねいなことばで書くこと。
責任を持てる内容かよく考えて書くこと。



- ④ 内容を見直してから **投稿する** ボタンをクリックします。



書き込むときの注意

- ① 書き込む前に内容を見直し、書き込んだ内容には責任を持つこと。
一度書き込んだ内容は訂正や取り消しをすることは、管理者以外できません。
- ② 正しい情報を書き込むこと。うわさ話やうそは絶対に書き込まない。
- ③ 住所や電話番号など個人情報を書き込まない。
- ④ 乱暴なことばや人がいやがることばを書き込まない。

コンピュータの画面の先には掲示板を見ている人がたくさんいます。相手の気持ちになって、ていねいなことばで書き込みましょう。

○ 「情報サイト」のチャットを体験してみよう

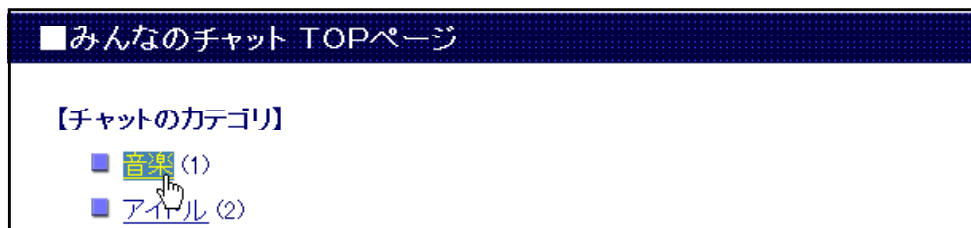
「情報サイト」のチャットを使って実際に書き込みをしてみましよう。
先生の指示にしたがって操作します。


「情報サイト」にログインして、【チャットのカテゴリ】を表示します。

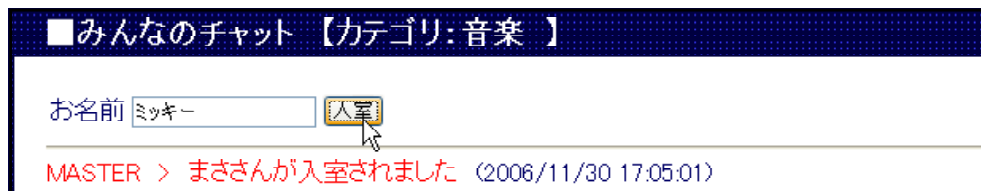


先生の指示にしたがって、

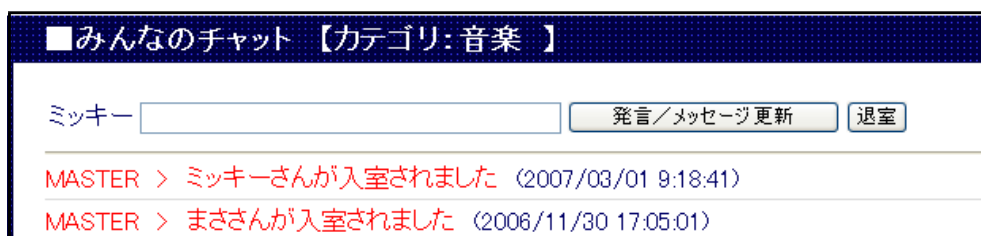
- ① チャットのカテゴリから一つを選んでクリックします。

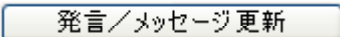



- ② 「お名前」に自分のニックネーム（ハンドルネーム）を入力して、
 ボタンをクリックします。

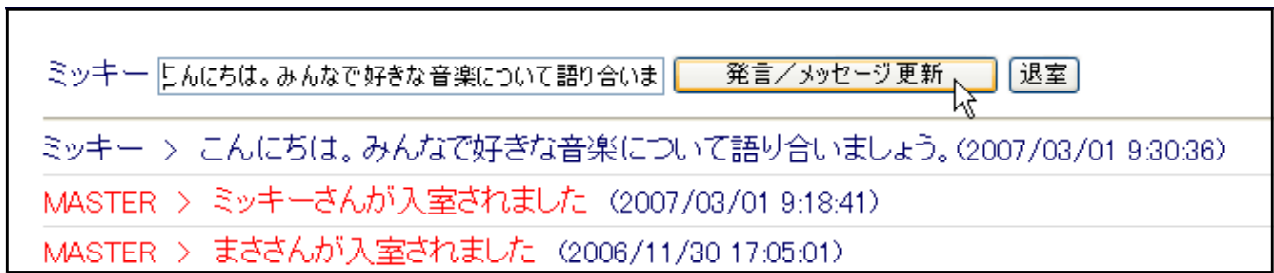


- ③ チャットルームに入室できました。



- ④ メッセージを入力して、
 ボタンをクリックすると発言できます。

ほかの人のメッセージを見たいときもこのボタンをクリックします。
 ボタンをクリックすると退室して【チャットのカテゴリ】の画面に戻ります。



短いことばでおしゃべりするように入力するのがコツです。

はつげん 発言するときの注意

- ① 短い文章でも、書き込んだ内容には責任を持つこと。
一度書き込んだ内容は訂正や取り消しをすることは管理者以外できません。
- ② 正しい情報を書き込むこと。うわさ話やうそは絶対に書き込まない。
- ③ 住所や電話番号など個人情報を書き込まない。
- ④ 乱暴なことば、人が嫌がることばを書き込まない。

コンピュータの画面の先には、チャットでのやり取りを見ている人がたくさんいます。相手の気持ちになって、ていねいなことばで書き込みましょう。

○ ネットワークエチケットを守ってコミュニケーションしよう

インターネットの世界では、おたがいに気持ち良く電子メールや掲示板などを利用するためにネットワークエチケット（ネチケットともいいます）にこころがけることが大切です。

○ ネットワークエチケットの例

1. ネットワーク上の相手のことを思いやりましょう。
2. 普段の生活で犯罪となることは、インターネット上でもやってはいけません。
3. 悪口の言い合いは、どんな場合も我慢しましょう。
4. インターネット上では誤解をされるようないいかげんな表現はやめましょう。
5. 他人のプライバシーや時間を尊重しましょう。
6. 相手のちょっとした間違いは許してあげましょう。
7. できるだけセキュリティの知識を身につけ、自分の身は自分で守りましょう。



けいじばん 掲示板やチャットでのトラブル

けいじばん
—掲示板やチャットで注意すること—

1 けいじばん 掲示板やチャットでのケンカ

もし、掲示板やチャットで悪口を書かれたら、どうしたら良いと思いますか。
下のわくに書いて下さい。

掲示板、チャットなどインターネットの世界では、文字を使っておたがいの気持ちや考えを伝え合うことが盛んに行われています。文字だけではその人の思っていることはなかなか伝わりません。ちょっとしたことばの行き違いで腹を立ててしまい、悪口の言い合いになってしまうこともあります。



ほんの冗談のつもりで書いたことばも、相手には真剣に受け止められることがありますので、ことばを選びましょう。

掲示板やチャットでは、他の人も見ているので、ケンカがエスカレートします。どうせ気分が悪くなるだけですから、相手の悪口にすぐ反応せず、落ち着いて行動しましょう。

知らない相手なら無視するのが良いでしょう。学校の友達なら無視するか先生に相談します。お互い気をつけて不愉快なことを書かないのが一番です。

けいじばん ○掲示板やチャットを利用するときの心がまえ

① 相手の顔が見えないために、まちがってつたわることがある。

「おもしろくない？」・・・ おもしろいのかな、おもしろくないのかな

② 悪口にはすぐに反応しないで、落ちついて行動しよう。

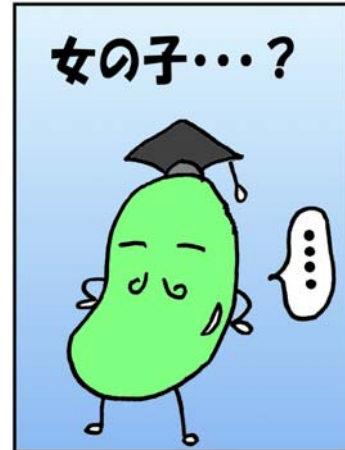
ひどい内容は、記録を保存しておき、先生や家の人に相談しよう。
通信ログ（次ページの説明参照）をもとに問題を解決できます。

2 掲示板やチャットでの「なりすまし」に注意！

掲示板やチャットの書き込みは、ハンドルネームというニックネームを使って行うのが普通です。ネットワークを利用してコミュニケーションするとき、画面の向こうにいる人が本当はどんな人なのかを確認することは難しいということです。相手が、小学生のふりをした大人の人や、女の人をふりをした男の人なのかもしれません。これを、「なりすまし」といいます。姿が見えずに画面に表示される文字だけでは、本当の正体はわからないのです。



本当は…？



残念なことです。ネットワークを利用するときは、そのことを知った上でコミュニケーションをすることが必要です。いやな思いや被害にあわないように、いつも注意しながらネットワークを利用しましょう。

また、掲示板やチャットの中では優しく親切な人でも、実際には悪いことをたくさんしていたり、大人なのに小中学生になりすましていたりする例もたくさんあります。実際に会うのは絶対にやめましょう。

だからといって、自分のことを何でも正直に書き込むこともよくありません。名前・住所・電話番号・メールアドレスなど本人を確認できる情報は書き込んではいけません。

掲示板やチャットの情報は、だれが見ているかわかりません。



○通信ログ

ネットワークを利用した情報のやり取りでは、掲示板やチャットで書き込まれた内容にくわえ、いつ、どのコンピュータからその情報が送信されたかなど、発信者を特定できる通信の記録が残ります。これを通信ログといいます。

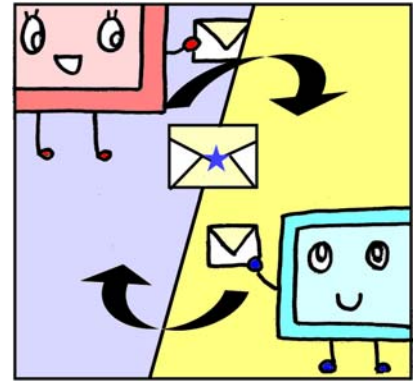
不適切な書き込みがあったときは、この記録をもとにして、発信者に対して責任を取るよう求めたり、犯罪に関係するときは、警察にその情報を提供することが行われています。

でんし 電子メールを使ってみよう

でんし
—電子メールを使うときに気をつけること—

1 電子メールで手紙を出そう

電子メールは、インターネットを利用して、遠くに
いる人に手紙やデータを送ることができる便利なしく
みです。最大の^{さいだい}特徴^{とくちょう}は、送信^{そうしん}するとすぐに相手に届^{あいて}
くことです。郵便^{ゆうびん}では何日もかかる外国にも、あっと
いう間に手紙を届けることができるのです。また、受
け取った人は、自分の都合^{つごう}の良い時間に電子メールの
内容^{べんり}を見ることができるので、この点もとても便利です。



でんし ○電子メールの利用

電子メールを利用するためには、メールアドレスを持つ必要があります。

メールアドレスとは、手紙を出す場合の郵便番号^{ゆうびんばんごう}や住所にあたるもので、電子
メールを利用する人や会社や組織^{そしき}が、次のようなメールアドレスを使って電子メ
ールを送ったり受け取ったりします。

メールアドレスの例（銀河小学校の山田さんのメールアドレス）

よみかた ヤマダ アットマーク ギンシヨー ドット ギンガ ハイフン ネット ドット ジェーピー
yamada@ginsyo.ginga-net.jp

意味 山田さん 銀河小学校 銀河ネットワーク 日本

○身近な学校や会社などのメールアドレスを調べてみよう。

- ・学校のメールアドレス
- ・ホームページなどで見つけたメールアドレス

2 電子メールの書き方

手紙と同じように、電子メールにも書き方のマナーがあります。

ここでは、調べ学習などで電子メールを使って質問^{しつもん}をする場合の例を紹介^{しょうかい}
します。

はじめまして。

銀河市立銀河小学校5年の山田太郎といいます。

学校の〇〇〇の授業で、△△△△さんのホームページを見せていただきました。

とても勉強になりましたが、どうしてもわからないことがありましたので、メールを書きました。

お忙しいとは思いますが、もしよろしければ教えて下さい。

しつもんないよう
(質問内容を書く)

よろしくお願いします。

銀河市立銀河小学校5年 山田太郎

ginsyou6@ginsyo.ginga-net.jp



これは、個人こじんに向けた電子メールでんしの例です。

最初だれにあいさつを書き、こちらが誰なのかを書きます。ここで学年を入れるのは、相手あいての人が学年を見て、ことばの使い方などを年齢ねんれいに合ったものにしてくれる場合があるからです。

次に本文ようけん（用件）を書きます。内容ごとに行を変えると読みやすくなります。また、一般的なメールソフトの場合は35字くらいで改行かいぎょうしてくれます。

最後しよめいにお願いのあいさつを書いて、署名しよめいを入れます。署名とは、電子メールの本文の最後につける送信者の名前や学校名、メールアドレスなどをいいます。返事へんじは学校で使っているメールアドレス送ってもらうようにします。

3 電子メールを使うときに気をつけること

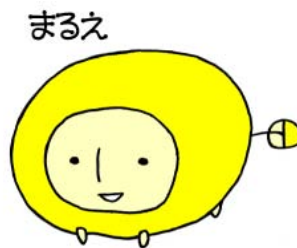
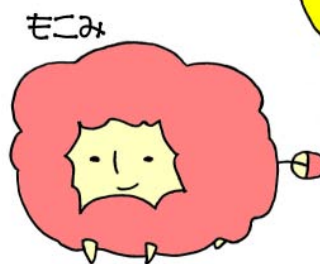
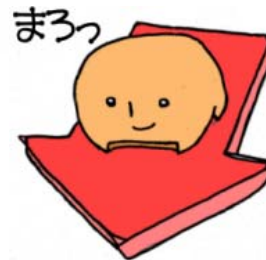
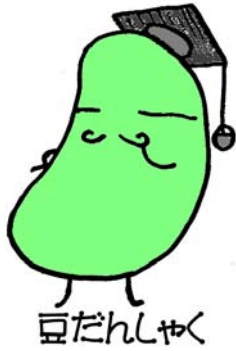
電子メールは遠くでんしにいる人と連絡れんらくを取り合ったり、書類しよるいやデータをやり取りしたりするときにとっても役立ちます。しかし、その便利べんりさの裏うらには、さまざまな危険きけんや問題点もんてんもあります。みなさんが、電子メールでんしを利用りようするときには、次のことに気をつけて正しく利用りようしましょう。

○電子メールを使うときの注意

- ① 送信そうしんする前に内容そしんさきや送信先まのアドレスをみなおして、間違いがないかよく確認かくにんすること。内容には責任せきにんを持つこと。
- ② 正しい情報じょうほうを書くこと。悪口わるぐちやうわさ話、ウソは絶対ぜったいに書かない。
- ③ 信頼しんらいできる人以外いがいには、住所でんや電話番号わばんごうなどの個人こじん情報を教えない。
- ④ 知らない人からの電子メールでんしに付いているファイルを開いたり、ホームページのリンクをクリックしたりしない。



じょうほう
情報モラルをいっしょに学ぶ仲間たち



本ページのキャラクタ: © 2008 team"Airi"

じょうほう
情報モラルを学ぼう

小学校編 一第3版の2一
平成20年7月24日 発行